

第2回津別町議会定例会『行政報告』

本日ここに第2回定例会を招集いたしましたところ、議員各位には極めてご多忙のところご出席賜り、厚く御礼申し上げます。

ただいま発言のお許しをいただきましたので、12月定例会後の行政報告を申し上げます。

はじめに、高齢者に対するお祝いについてであります。令和6年12月21日に日下^{くさか}アキ子様、令和7年1月12日に小笠原^{おがさわら}道子^{みちこ}様が100歳の誕生日を迎えられましたことから、今後とも益々のご健勝を願い、記念品を贈り祝意を表したところであります。

次に、丸玉木材株式会社様からの寄附についてであります。本年も、緑豊かな自然環境を次の世代に引き継ぎ、森林資源の造成と保全や未立木地対策を図ることを目的として、丸玉木材株式会社様より、500万円のご寄附を頂戴したところであります。

また、昨年12月24日に会社を訪問し、これまでの「丸玉木材森づくり基金」の運用状況の報告を行いましたところ、令和7年から令和9年の3か年につきましても、継続して年500万円のご寄附の申し出を頂いたところであります。

改めまして丸玉木材株式会社様に感謝の意を表しますとともに、今後とも「丸玉木材森づくり基金」の活用により、造林や除間伐等の森林整備事業に助成を行う愛林のまち緑資源を守る推進事業を継続し、豊かな森林の育成に一層努めて参ります。

次に、**津別中学校・二水國民中學交流事業**についてであります。これまでコロナ禍により実施を見合わせていたところですが、1月9日から1月14日までの5泊6日の日程で、久しぶりに津別中学校より、生徒8名、教員1名、教育委員会1名の計10名が台湾二水郷を訪問いたしました。

二水國民中學では、授業参加やボルダリング体験、国際寮への宿泊等を通して充実した交流事業を行ってきたところです。参加した生徒たちからは「異文化を知ることができ大変勉強になった」等の感想もあり、世界に目を向けるきっかけとなるよう、今後とも継続して交流事業を行って参る考えであります。

次に、**堆肥製造施設の火災**についてであります。1月18日午前7時頃、堆肥製造施設のパーク保管場所から出火し、消防車両の出動により一時鎮火しましたが、21時頃に再出火が確認されたことから、再度消防車両を要請して消火にあたり23時頃鎮火しました。発火元のパークの一部は燃えましたが、幸いにも施設への延

焼はありませんでした。

今回の火災につきましては、発酵により堆積したバークの温度が上がり、自然発火したものと思われ、バークの長期堆積が原因と推察されたところです。適正に管理していれば防止できたものであり、指定管理者である津別町農業協同組合に再発防止に向けた対策を指示したところでもあります。公共施設において火災を発生させてしまいましたことに対し、町民の皆様には深くお詫びを申し上げます次第であります。

次に、寄附についてであります。1月28日、故人 ^{ひらつか}平塚 ^こあき子様のご意思により、ご子息の ^{ひらつか}平塚 ^{ひろゆき}博之様から図書館の運営に役立てて欲しいと100万円のご寄附をいただいたところでもあります。ご厚志に深く感謝を申し上げますとともに、ご趣旨に沿って有益に使用させていただく所存であります。

次に、国営農地再編整備事業「津別地区」完成祝賀会についてであります。2月8日、中央公民館において ^{たけべ}武部、^{かわはらだ}川原田両衆議院議員をはじめ関係者43名のご出席をいただき開催いたしました。平成27年度から10年間にわたり行ってきた区画整理等2,433ヘクタール、総事業費174億円の大規模事業が令和6年

度をもって完了いたしました。これにより、大型機械の使用が可能となり農作業の効率化が進み、暗きょ排水改良により農作物収量の増加が図られ、収益性の高い農業に繋がってきているところです。

祝賀会では、関係者の皆様がこれまでの互いの苦労をねぎらいながら、今後の本町農業の更なる発展を願ったところであります。

改めまして、北海道開発局網走開発建設部をはじめ、事業に関わっていただきました全ての関係者の皆様に、お礼を申し上げます。

なお、この祝賀会に先立ち、1月30日に網走開発建設部主催による国営農地再編整備事業津別地区完了報告会が、役場健診ホールにおいて開催されましたことを申し添えます。

次に、令和6年度北海道産業貢献賞の受賞についてであります。40年以上の永きにわたり、診療獣医師として卓越した見識と豊富な経験、優れた診療技術をもって、津別町のみならずオホーツク地域の畜産振興及び家畜衛生対策の普及発展に多大なご貢献をされた

ひらつか ひろゆき
平塚 博之 様が、2月12日、札幌市において北海道知事より産業貢献賞が授与されました。

この度の受賞に対し、心より敬意を表しますとともに、今後とも本町の畜産振興及び家畜衛生の普及、発展に寄与していただくことを期待するものであります。

次に、地域おこし協力隊の活動成果報告会についてであります、2月20日、ウッドルーム1階で開催いたしました。今回が初めてとなる協力隊成果報告会は、町内で活躍する協力隊員の活動を関係者のみならず、広く町民に紹介することにより、地域力の維持・強化に資する取組の更なる推進を図るとともに、協力隊員の将来的な定住・定着に向けた地域交流の場として開催いたしました。

この報告会には、現在活動中の協力隊員全6名が参加し、活動成果報告のほか自身が携わる商品の試食や、PRパネルの展示も行ったところです。当日は悪天候にもかかわらず、町内外から70名ほどの参加があり、質疑応答等において貴重なご意見もいただいたところです。

人口減少や高齢化の著しい本町において、地域おこし協力隊は、地域の担い手となる人材の確保や移住施策として効果的な制度であると考えており、今後とも協力隊員の活動による地域振興に期待するものであります。

なお、今議会におきまして、人事案件、条例制定、補正予算及び新年度予算等の議案を提出いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げます行政報告といたします。